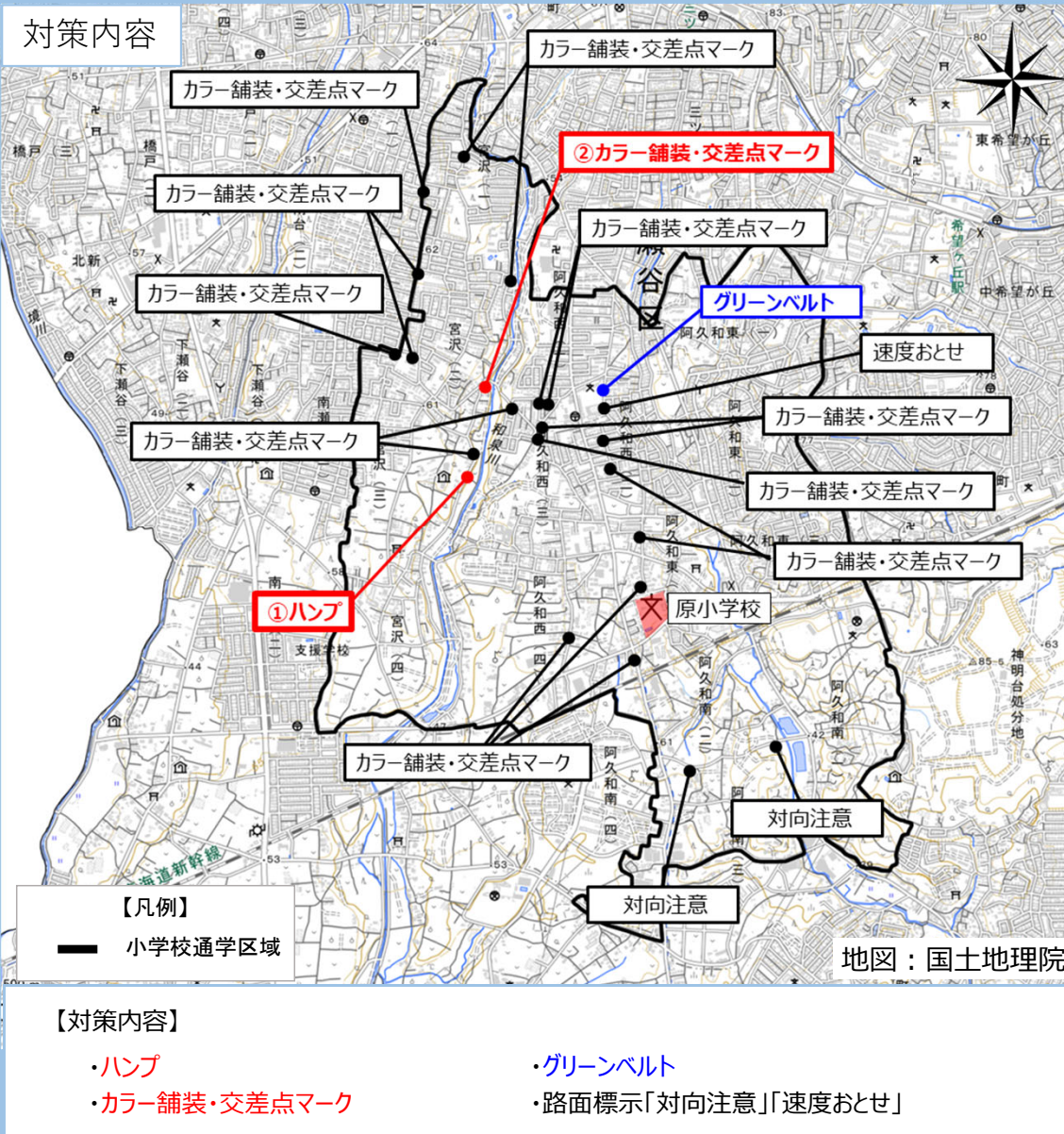
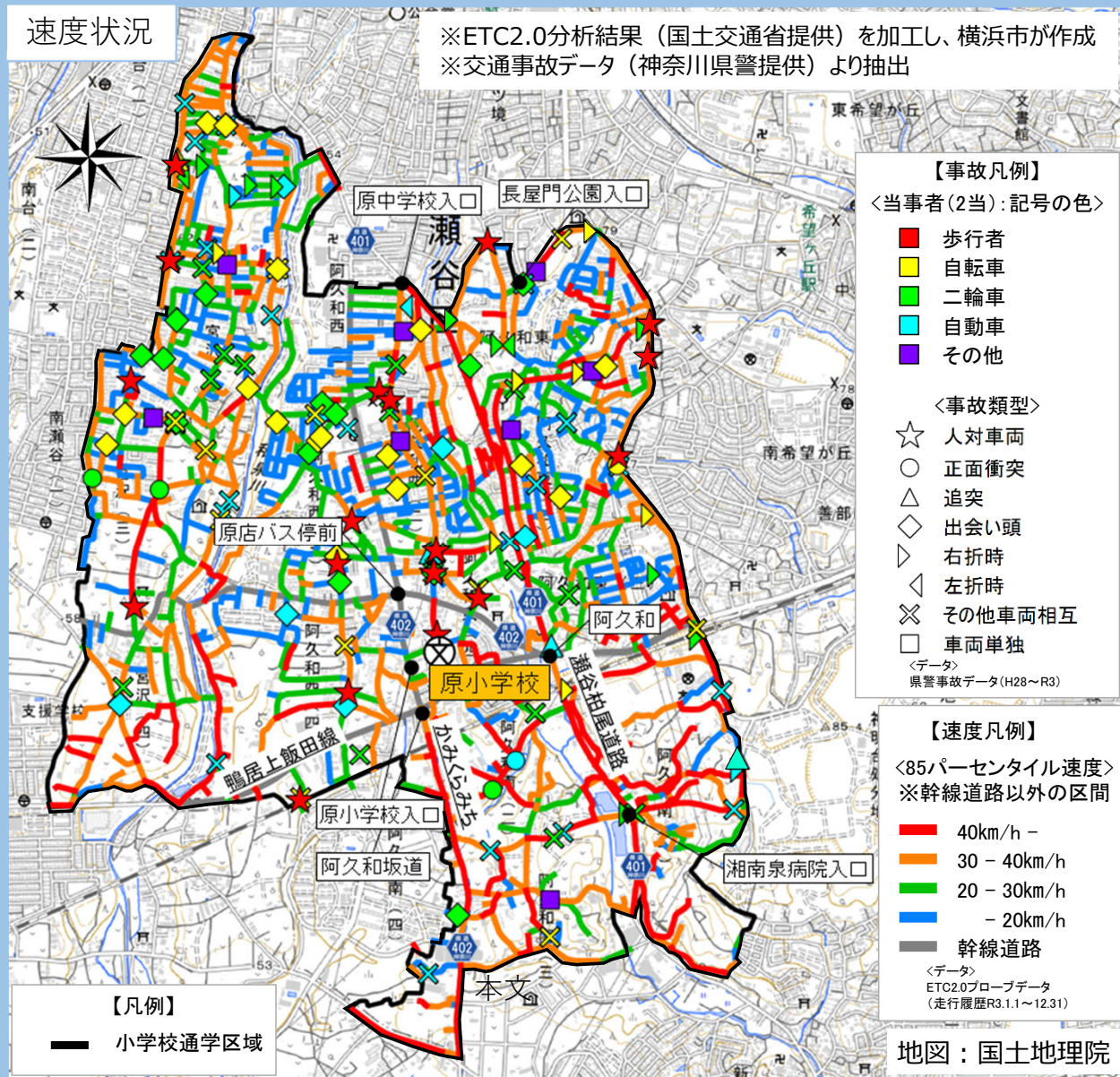


速度状況と対策内容

ETC2.0から得られた車両速度データや交通事故データなどをもとに対策を立案し、学校や地域との協議を経て対策を実施した。ハンプを設置する際、夜間の視認性を確保するために、自発光鎮・ラバーポール（反射テープ）の設置や街路灯の下に設置するなどの工夫をした。また、スクールゾーン対策協議会の要望を反映した対策を実施するなど安全性向上を図った。



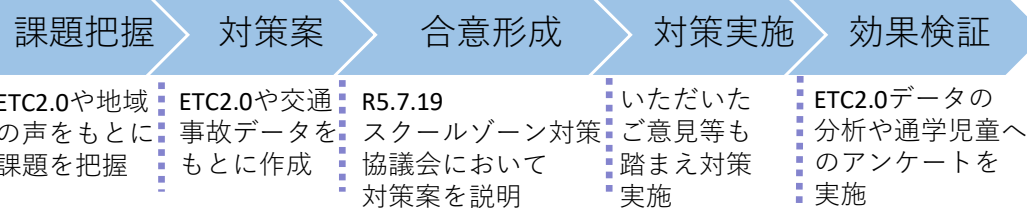
① ハンプ



② カラー舗装・交差点マーク



交通安全対策取組フロー



スクールゾーン対策協議会からの主な要望

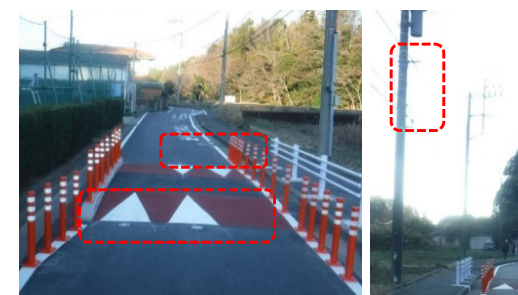
カーブしていて、車が見えにくい。ドライバーへの注意喚起となるような路面表示を設置してほしい。

グリーンベルトを明示して、歩行空間を明確にしてほしい。

スクールゾーン対策協議会の要望を踏まえた交通安全対策



夜間の視認性を考慮したハンプの計画



段差前に自発光鎮を設置し、また防犯灯付近に設置することで、夜間、ハンプを認識しやすくなるようにした。

児童向けアンケート

Q 工事をして、安全になったと思いますか？

- 安全になった。歩きやすくなった。
- 今までと変わらない。

全学年（回答数707名）

72.1%

27.9%

72%以上
が安全に
なったこと
を実感！

人の歩く場所の道路の色が分かりにくかったから、工事をしたことによって分かりやすくなった。

原小学校児童（6年生）

いつも車の速度が速くて、速度を遅くしてくれたので、少し安心しました。

原小学校児童（4年生）

瀬谷区 原小学校

【対策方針】

○危険交差点及び危険箇所の抽出

学区内の危険箇所の把握及び危機回避の仕方を知る

○危険交差点及び危険箇所の観察

危機回避のためのイメージを膨らませて、安全意識を高める

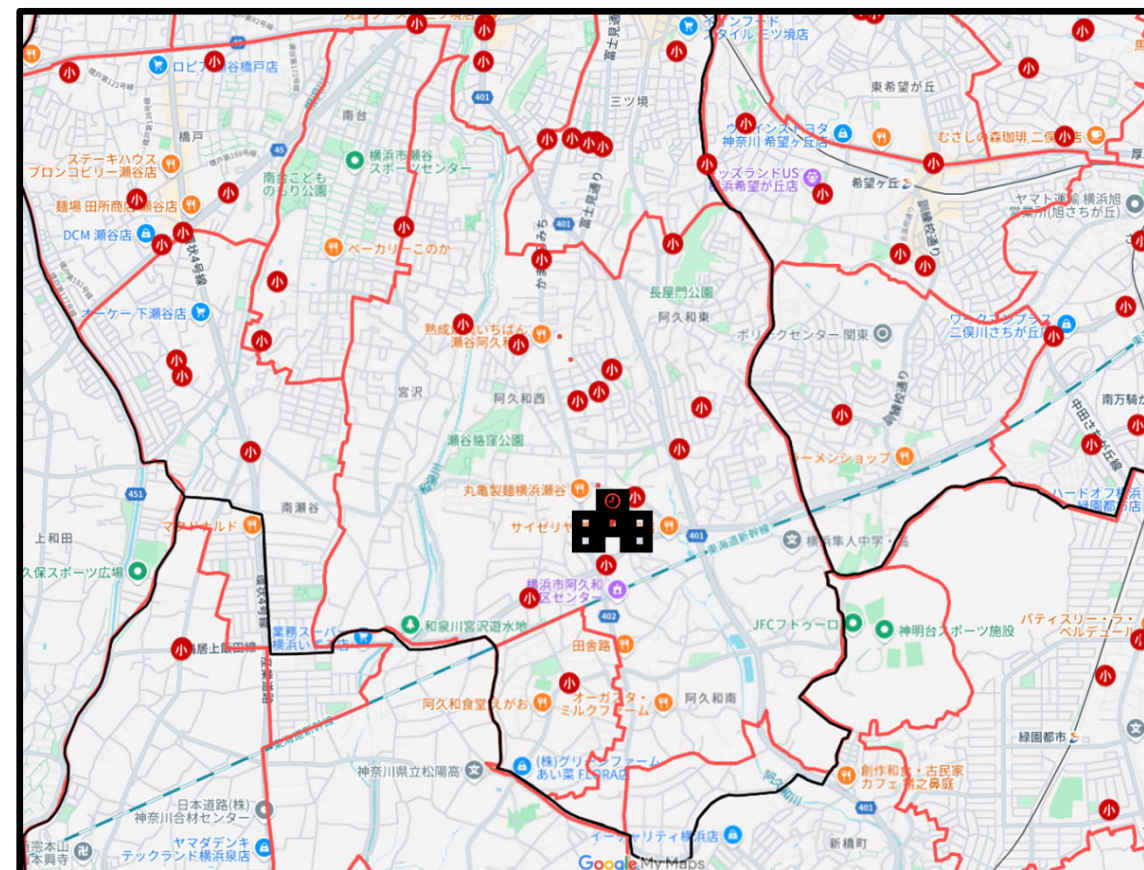
○情報の共有

校外委員、関係機関との連携を図り、改善策を検討する

○見守り活動の充実

地域の方と情報を共有し、安全なまちづくりを目指す

【こども・安全安心マップ】 引用:Googleマップ



■ 対策事例

自転車パトロールプレートの運用(PTA主体)



登下校時に「パトロール中」のプレートをつけた自転車で学区内の通行を実施

【学校からのコメント】

パトロールプレートがある自転車が走行していることで、子どもたちも見守られているという安心感がもてている

放課後キッズクラブ交通安全教室 (実施日:令和5年8月21日 参加人数:40名)



※写真は対象校とは異なります

下校時間が遅く1人で帰ることの多い放課後キッズクラブの児童向けに、道路局職員が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】

標識の意味など交通ルールに関するチーム対抗のクイズ形式

はまっこ交通安全教室

(実施日:令和5年5月15日 参加人数:450名)



※写真は対象校とは異なります

道路を1人で歩くことが多くなる1年生と自転車を使い始める4年生を対象に、交通安全協会が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】

1年生:道路の正しい歩き方
4年生:自転車の乗り方 ほか

幼児交通安全訪問指導

(実施日:令和5年6月30日ほか5回実施 参加人数:計507名)



※写真は対象園とは異なります

未就学児を対象に道路の歩き方などをパネルシアター等を用いて道路局の幼児交通安全教育指導員が実施

【訪問した園】

みなみ幼稚園、宮沢保育園、阿久和保育園、ほうゆう保育園、原幼稚園